

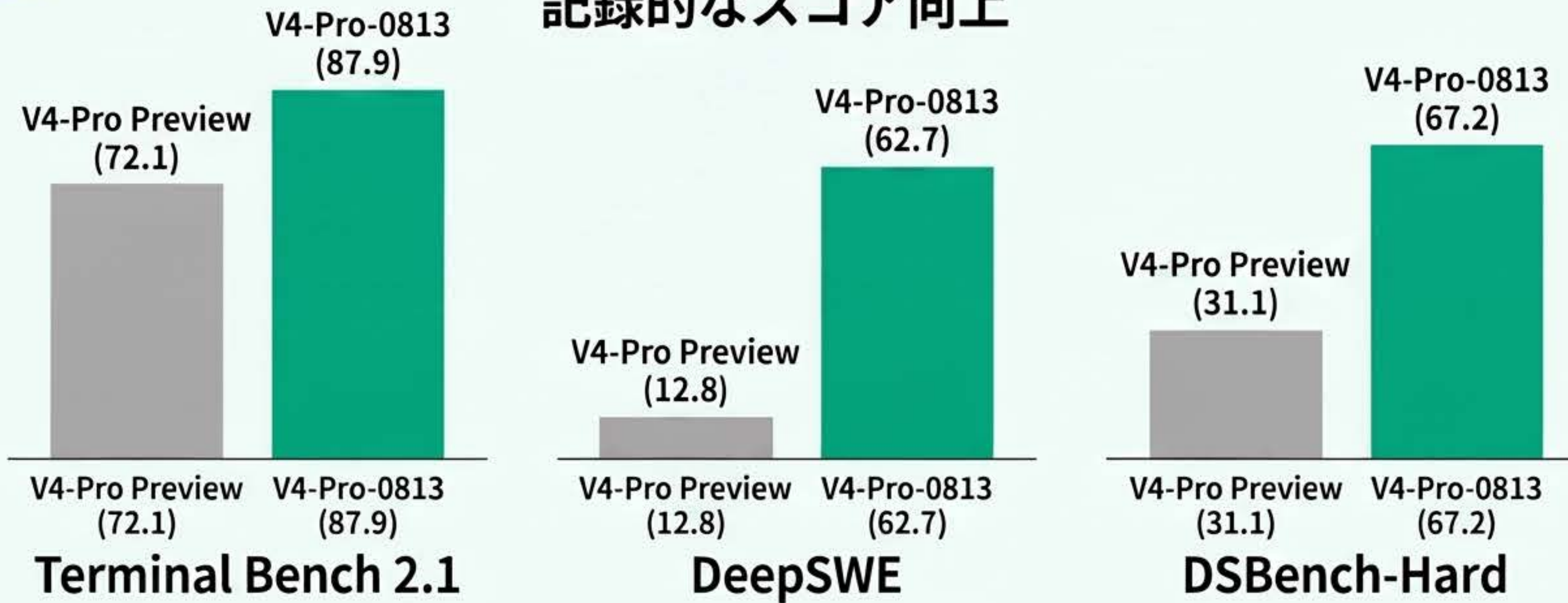
DeepSeek-V4-Pro-0813：進化したAgent性能と導入の注意点

2026年8月13日、DeepSeek-V4-ProのAPIが「0813」版へサイレント更新されました。本アップデートは、アーキテクチャの根本的な変更よりも「後学習 (Post-training)」によるAgent能力の強化に重点が置かれており、劇的なベンチマークスコアの向上を見せていますが、運用上のリスク管理も同時に求められます。



進化した性能とAgent能力

記録的なスコア向上



アーキテクチャ不変の「後学習」による最適化

1.6T総パラメータ等の基本仕様は維持しつつ、Agent成功率を重点的に改善。



圧倒的なコスト競争力

出力単価は他社フラグシップモデルの約57分の1 (\$0.87/1M tokens) を維持。



導入のリスクと推奨運用



Mutable Aliasによるサイレント更新への対応

同一IDで挙動が変わるため、本番投入には5～10%の段階的なカナリアリリースを推奨。



データ所在とプライバシーの法務確認

中国国内でのデータ処理・保存が明記されているため、機密データの投入には事前審査が必要。



セルフホストは「同一性」の確認待ちを推奨

公開ウェイトと0813 APIのハッシュ一致が未確認のため、公式情報を待機すべき。